

中国の電力事情と国家電網公司の概要

1. 中国の電力事情

(1) 電力消費の急増

中国では、経済成長により電力需要が急激に伸びる一方、電力供給が追いつかず、深刻な電力不足が生じている。急伸する最大電力に対応するための発電設備の建設が計画されており、中国の発電設備容量は2004年時点の4.4億kWから、2020年までに10億kWまで増強される見通しである。また、それに見合った送電線網の整備も大きな課題となっている。

中国の発電設備容量の推移（実績と見通し）

	1980年	2000年	2003年	2004年	2020年	日本の10電力合計 (2004年度末)
発電設備(億kW)	0.66	3.19	3.91	4.4	10	2.00

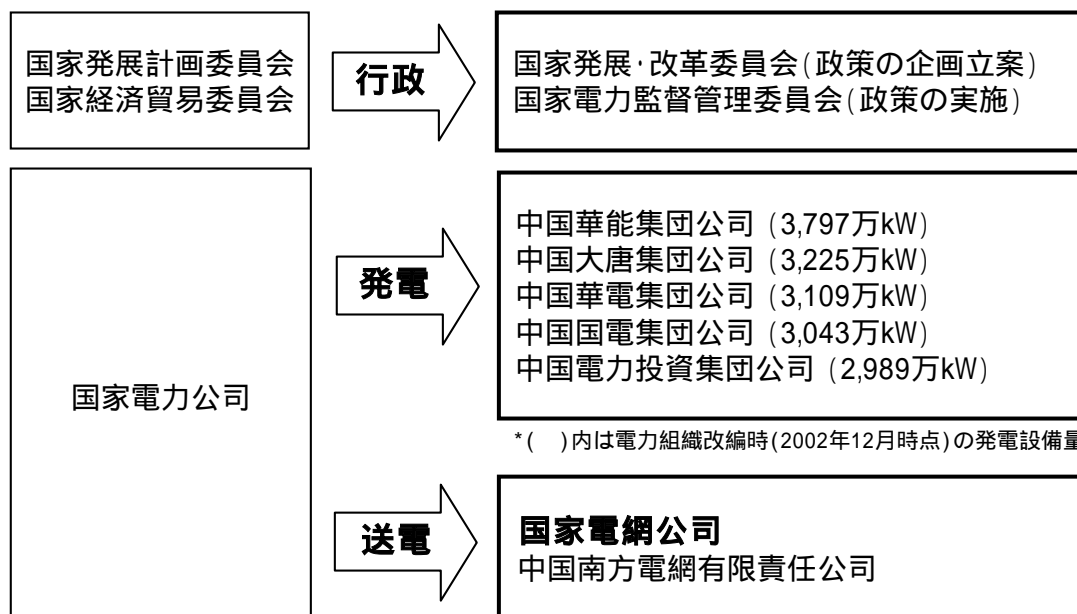
(2) 電力組織の改編

これまで、中国の電気事業は一元的に国が管理してきたが、1997年の「国家電力公司」(企業経営機能)の設立、1998年の「国家経済貿易委員会」(行政管理機能)の設立による「行政と企業の分離」を経て、2002年12月には、「国家電力公司」が5つの発電会社と2つの送電会社に再編成された。

あわせて同年、電気事業の政策立案を担う「国家発展・改革委員会」ならびに政策の実施を担う「国家電力監督管理委員会」が新設された。

なお、需要家への供給については、省・自治区レベルに設置された電力公司・電網公司(配電会社)を通じて行われる。

中国の電力組織改編（2002年～2003年）



2. 国家電網公司の概要

(1) 管轄地域

中国南方電網有限責任公司の管轄する広東省、広西自治区、貴州省、雲南省、海南省を除く地域の送電線網については、国家電網公司が管理する。

国家電網公司は、地域別に5つの地方電網公司を有するとともに、さらに1つの地方電網公司（西藏電力網）を代行管理する。（下図参照）

東北電網有限公司 / 華東電網有限公司 / 華中電網有限公司 / 西北電網有限公司 / 華北電網有限公司

- (2) 総 経 理 リュウゼンヤ 劉 振 亜
(3) 本 社 北京市
(4) 設 立 2002年12月
(5) 総 資 産 1兆524億元（13兆6,181億円）
(6) 事業収入 4,830億元（6兆2,500億円）
(7) 販売電力量 1兆1,200億 kWh
(8) 従業員数 723,543人

(5)～(8)についてはいずれも2003年の数値

1元=12.94円（2003年12月31日）とした

出典：“2003 A Glance at State GRID 国家電網公司”

